

やまぎん

アジアニュース

2019年12月

●釜山支店☎010-82-51-462-3281 ●青島支店☎010-86-532-85766222 ●大連支店☎010-86-411-83705288
●香港駐在員事務所☎010-852-2521-7194



【タイ駐在員】

バンコクの交通事情（進化を続ける都市交通）

1. はじめに

タイ王国は東南アジアで経済発展を遂げた国の一つであり、なかでも首都バンコクはアジア有数の大都市圏を形成しています。タイに居住する日本人は7万人を超え（中国に次ぎ2位）、日本からタイへの渡航者数は2018年に過去最高の約164万人（前年比約7%増）を記録し4年連続の増加となるなど、近年の日系企業の進出やLCC路線の拡充などにより、日本人にとってより身近な国となりました。

タイは近年の急速な経済発展に加え、観光資源が豊富な国でもあり、バンコク中心部の有名寺院やナイトマーケット、世界遺産のアユタヤ遺跡、リゾート地のプーケットやパタヤなど、観光旅行先としては是非一度は経験していただきたい場所が多くあります。タイ国内の交通手段としては、鉄道・電車、バス、タクシー、バイクタクシー、トゥクトゥク（3輪タクシー）、ソンテウ（乗り合いトラック）等が揃っており、上手に活用すれば移動に苦勞する事ありません。

今回はその中で、最も利用方法が簡単かつ安全な移動手段である鉄道・電車についてご紹介します。現在バンコクでは、複数の鉄道・電車路線が存在し、近年主要路線の延伸が続き利便性が飛躍的に向上しつつあります。

2. バンコク・スカイトレイン（Bangkok Sky Train System／BTS）

1999年開業のスクンビットライン（カセサート大学駅～ケーハ駅）と、2009年開業のシーロムライン（ナショナルスタジアム駅～バーンワー駅）の2路線で構成される高架鉄道網です。

主要路線であるスクンビットラインは、バンコク中心部を東西に横断するルートを運行し、商業施設が集積するサイアム駅や日本人駐在員等が多く居住するアソーク～トンローエリアを通るため、バンコクに住む日本人にとっては最も馴染みのある路線です。総延長は開業当初モーチット駅～オンヌット駅間の17駅（約16km）のみでしたが、バンコク中心部周辺の交通渋滞緩和を目的として、順次延伸工事が進められ、2019年12月に新しく4駅が開業する事で、開業後20年を経て36駅にまで延伸しました。北端のカセサート大学駅から南端のケーハ駅までの現行乗車料金は59タイバーツ（約212円、

@3.6円、以下同レートで換算)です。

シーロムラインは現在13駅(約13km)で、サイアム駅でスクンビットラインと接続するほか、後述のMRT(地下鉄)ともサラデーン、バーンワの両駅で接続しています。利用方法は、自動券売機、もしくは窓口にて1回乗車券や回数券、チャージ式プリペイドカード(ラビットカード)を購入して乗車します。

なお、BTSや地下鉄(MRT)、バス等の利用が可能となる交通系共通ICカードシステム「Mangmoon(メンムム)」の導入が当初2018年に予定され、利用者の大きな期待を受けていましたが、インフラ整備などの問題から、残念ながら2019年12月時点で未だ実現していません。

運行時間はスクンビットラインが朝5:15～深夜1時前、シーロムラインが朝5:30～深夜1時前となっています。曜日や時間帯により2分40秒～8分に1本運行しており、高架鉄道でもあり平常時には遅延が少ないものの、年に数回システム障害により不通・大幅遅延となる事があります。また、延伸による利便性の向上に伴い、利用客数が急増したことで、朝晩の通勤・通学ラッシュ時には常に満員電車の状態となり、入場制限や列車が来ても2～3本乗れず多くの乗客がホームに残ったまま、などの光景を目にします。

BTSは今後も延伸を続ける計画で、2020年中には新たに11駅(ドンムアン空港近くを通過)が開業予定で、LCCや国内線が多く離発着するドンムアン空港へのバンコク中心部からのアクセスが更に向上する見込みです。

3. バンコク・メトロ (Mass Rapid Transit/MRT)

2004年開業のブルーライン(バーンスー駅～ファランポーン駅)と、2016年に開業したパープルライン(クローンバーンパイ駅～タオープン駅)の2路線で構成される地下鉄網(一部区間は高架)で、区間中4駅でBTSと接続し、複合利用による広域移動が可能となっています。BTSと同様に、1回乗車券(トークン)またはチャージ式プリペイドカード(MRTカード)を購入して利用します。

ブルーライン西側延伸区間ファランポーン駅～ラクソーン駅間(全長15.9km、11駅)が2019年9月に開業し、従来タクシーや一日ツアー利用が一般的であったバンコク観光の目玉である王宮および三大寺院(ワット・ポー、ワット・プラケオ、ワット・アルン)や、ヤワラート(中華街)へもMRTを利用して容易にアクセスできるようになり、バンコク観光における目的地のバリエーションも向上しました。また、2020年にも新たにバンコク北西部(パープルライン)と西部(ブルーライン)の既存駅2駅を縦に結ぶ路線が開業し、MRTの環状線化が実現します。

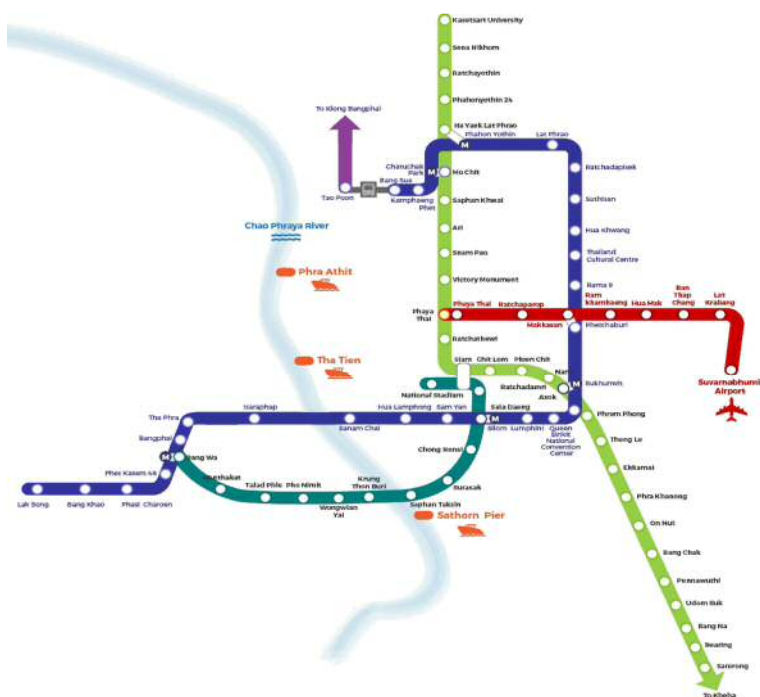
4. エアポートリンク (Airport Rail Link/ARL)

2010年開業の、アジア有数のハブ空港であるスワンナプーム国際空港と、バンコク中心部を結ぶ高架鉄道で、タイ国有鉄道(後述5)の系列企業が運営。総延長は28.6km(8駅)で、スワンナプーム国際空港内に設置された駅と、BTSのパヤータイ駅(バンコク中心部サイアム駅から北に2駅)を結んでいます。

区間中 6 駅で国有鉄道（東本線）と接続するほか、中間点のマッカサン駅で MRT ペッチャブリー駅と接続しています。

空港からパヤータイ駅までの所要時間は 30 分程度（8～15 分間隔）で、現行料金は片道 45 タイバーツ（約 162 円）です。空港利用客のみならず、バンコク東部から中心部への通勤・通学客も多く利用するため、BTS や MRT と同様に、慢性的な満員電車の状態にあります。

現在の路線図（出典元：トラベルハッピーHP）



BTS、MRT の延伸計画（出典元：Arays HP）



5. 国有鉄道 (State Railway of Thailand/SRT)

1894年開業。主要路線は4系統あり、総延長4,041kmは東南アジア最大規模です。各路線の目的地は、北本線がタイ北部チェンマイ、南本線がスンガイコーロック（マレーシア国境）、東北本線がノンカイ（ラオス中部国境）およびウボンラチャターニー（ラオス南部国境）、東本線がアランヤプラテート（カンボジア国境）。それぞれの路線に多数の支線が存在しています。

最大の魅力は低廉な料金とゆったり流れる旅景色であり、観光都市であるチェンマイ（バンコクから北に約700km）まで座席等級に応じて400～1,000タイバーツ（約1,440～3,600円）です。一方で遅延が多く予定通りに目的地へ到着しない等の難点があるため、利用する場合は時間に余裕を持てる事が前提となりますのでご注意ください。

6. 高速鉄道 (High Speed Rail/現在建設計画)

バンコク北部のドンムアン空港からスワンナプーム国際空港を經由し南東部ウタパオ空港へ到達する高速鉄道で、現在の計画では全9駅（総延長220km）が建設予定です。

日本人が多く居住するシラチャ、および観光地パタヤにも乗降駅が設置される予定となっており、国内線やLCCが多く発着するドンムアン空港と、アジア有数のハブ空港であるスワンナプーム国際空港、中国などからの観光客が多く利用するウタパオ空港が高速鉄道で結ばれる事で、飛躍的な利便性の向上が見込まれます。

計画ではドンムアン空港～ウタパオ空港間で所要時間95分、運賃は乗車区間に応じて109～490タイバーツ（約392～1,764円）で、タクシーやハイヤーを利用した場合に比べ圧倒的に安価かつ短時間での移動が可能となります。正式開業は2023年に第1期区間開通を目指すとされていますが、タイで建設工事が予定通り完了するケースはほとんどなく、実際は開通までにさらに数年を要すると見られています。

高速鉄道計画路線図(High Speed Rail)



※2018年8月時点の計画（出典元：「Wise BIZ」HPより）

7. おわりに

バンコクでは観光地や歓楽街周辺では、いまだにタクシーなどの「ぼったくり」行為（メーター不使用は違法ですが、取締り等はほとんど期待できません。）が日常茶飯事的に横行しており、運悪くそのような状況に遭遇してしまったら、身の安全についての不安はもちろん、せっかくの楽しい海外旅行が台無しになりかねません。

タイへのご旅行に際しては、タイ語や英語が苦手な方でも安心して簡単に利用できる鉄道・電車をメインとした安全かつ効率的な旅行計画を立てていただき、楽しいタイ旅行の思い出を日本へ持ち帰っていただきたいと思います。

(タイ駐在員 石丸 将伸・山口 新吾)

【参考文献】

Bangkok Sky Train (BTS)

<https://www.bts.co.th/eng/index.html>

Mass Rapid Transit (MRT)

<https://www.bemplc.co.th/default?lang=en>

タイ国政府観光庁公式サイト (amazing THAILAND)

<https://www.thailandtravel.or.jp/>

日本貿易振興機構 (JETRO)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/thailand/data.html>

Wise BIZ (EEC 高速鉄道計画)

<https://biz.wisebk.com/>

現在の BTS 路線図

<https://travelhappy.info/bangkok/>

BTS 路線図 2023 年

https://arayz.com/columns/tokusyuu_201807/2/

高速鉄道計画路線図

<https://biz.wisebk.com/bnk48-51/>